



学校便り

だしる
自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和7年5月27日発行

合い言葉 **やればできる**

平和への道を考える

校長 土岐 邦寿

5月20～22日にかけて、長崎・佐賀へ修学旅行へ行ってきました。今回は、ハウステンボス、長崎市内の研修、佐賀県立宇宙科学館がメインでした。一日目のハウステンボスでは、バラ祭りの最中で園内バラの香りが漂っていました。VR体験（大型めがねをかけると目の前の映像で自分が空を飛んでいるような感覚になる体験）や噴水に色の三原色を当て演出するショー、プロジェクター3Dマッピング（城の壁に映像を投影する映画）などみんなで楽しみました。3日目は宇宙科学館で、無重力体験や自転車綱渡りなど日頃体験できないことを満喫してきました。天然記念物「ムツゴロウ」を見つけることはできたでしょうか。

長崎市内は、教科書で習ったことを実際に見たり聞いたりできる貴重な機会です。古くから外国との交流が盛んだったことから、グラバー園やオランダ坂、中華街など異文化に触れることができます。また、原爆の悲惨な歴史を知ること、戦争の恐ろしさと平和の重要性を深く理解することができます。原爆資料館や爆心地、浦上天主堂などを見て、原爆投下がどのようにして起こり、その影響がどのようなものであったかを知りました。そして、如己堂と永井隆記念館を見て、被害を受けた人々の体験や苦しみを知り、同じ過ちを二度と繰り返さないためのメッセージを受け取りました。平和ガイドさんの話をじっくりと聞いて、生徒一人一人が真剣に向き合い、戦争による悲劇を胸に刻み込み、平和の大切さを訴えていくことの大切さを再確認していました。

二年生の修学旅行に合わせて、一年生は宿泊学習、三年生は職場体験学習を実施しました。それぞれ、日頃校内では味わうことのない貴重な体験ができたと思います。これからの生活に十分活かしていってほしいと思います。



佐賀県立宇宙科学館にて